



9月の2週目がスタートしました。登園した子どもたちは、荷物の整理を済ませると、すぐに園庭に出て遊び始めました。午前10時前には、燦々と降り注ぐ日差しを浴びて園庭の気温が35度を超えていました。子どもたちの中には、砂場で裸足になって水遊びを楽しむ子どもたちがありました。水の冷たさが余程気持ちよかったのか、砂場にできた水溜まりに寝そべて遊ぶ子どもの姿も見られました。

その後、年少と年長の子どもたちが、花壇の咲き終えた花びらを摘んで色水作りを始めました。水を入れた容器にオシロイバナやマリーゴールドの花びらを入れて、子どもたちは真剣な表情で搗り潰す作業に取り組んでいました。暫くすると赤紫色やオレンジ色の色水ができあがりました。子どもたちは、丁寧に搗り潰した花びらを取り除き、ペットボトルへと色水を移し替えていました。

(①②年少組の子どもたちの様子 ③④年中組の子どもたちの様子 ⑤⑥年長組の子どもたちの様子)